



取扱説明書

bicycle-mss2008 20インチ折り畳み自転車

自転車を安全・快適にご使用いただくため必ずお読みください。



いつまでも安全にお乗りいただくために、
自転車の正しいご理解とご使用をお願いいたします。

◆仕様、その他の変更などにより、画像や内容が一部実車と異なる場合があります。

この度は〈Air bike〉をお求めいただきまして、
誠にありがとうございます。
ご使用の前に、安全に関するご注意をよくお読みの上、
正しくお使いください。

» INDEX

P2	はじめに
P3	自転車運転者講習制度
P4	ご使用の前に
P5	前輪ロック／交通ルール
P6	注意事項
P7	お手入れと保管
P8	各部名称
P9～16	組立てについて
P17	注意事項再確認
P18	修理サービス案内
P19	修理サービス保証書／商品仕様

■自転車に歩行者の感覚で乗るのはおやめください。

公道を走行する乗物です。周囲の交通環境を的確に判断した乗り方をしなければ、自分・周囲を含めての重大な事故につながる場合があります。

■重要なのは、自分の自転車に慣れることです。

日頃の手入れや定期的な点検が必要です。
修理などについてご不明な点ありましたら、販売店までご連絡をください。（P7参照）

■「改正道路交通法」の施行（平成27年6月1日）により、自転車の運転に関して、信号無視などの危険なルール違反を繰り返すと、公安委員会から自転車運転者講習の受講を命ぜられる制度です。

一定の危険な違反行為をして検挙され、または事故を起こした。

《3年以内に2回以上》

《公安委員会が命じる》

自転車運転者講習を受講

- 講習時間：3時間
- 手数料：5,700円

受講に従わない場合

- 5万円以下の罰金

■自転車運転者講習の対象となる「危険行為」とは

① 信号無視

【法第7条違反】

信号機の信号などに従わない行為。



② 通行禁止違反

【法第8条第1項違反】

道路標識などで自転車の通行が禁止されている道路や場所（歩行者天国など）を通行する行為。



③ 歩行者用道路での

徐行違反【法第9条違反】

自転車の通行が認められている歩行者用道路を通行する際に、歩行者に注意をせず、徐行しないなどの行為。



④ 通行区分違反

【法第17条第1項、第4項又は第6項違反】

車道の右側通行や、右側に設置された路側帯を通行するなどの行為。



⑤ 路側帯での歩行者の通行妨害

【法第17条の2第2項違反】

自転車が行き通じ可能な路側帯で歩行者の通行を妨げるような速度と方法で通行する行為。



⑥ 遮断路切への立ち入り

【法第33条第2項違反】

遮断機が閉じていたり、閉じようとしている路切、警報機が鳴っているときに路切に立ち入る行為。



⑦ 交差点安全進行義務違反等【法第36条違反】

信号のない交差点で、左からくる車両や優先道路などを通行する車両などの進行を妨害する行為。



⑧ 交差点優先車妨害等

【法第37条違反】

交差点で右折するとき、直進や左折しようとする車両などの進行を妨害する行為。



⑨ 環状交差点安全進行義務違反等【法第37条の2違反】

環状交差点内を通行する車両などの進行を妨害する行為など。



⑩ 指定場所一時不停止等

【法第43条違反】

一時停止の標識などを無視して進行する行為。



⑪ 歩道での歩行者妨害等

【法第63条の4第2項違反】

車道寄りを行進しなかったり、歩行者の通行を妨害するなどの行為。



⑫ 制動装置不良自転車の運転【法第63条の9第1項違反】

ブレーキ装置がなかったり、ブレーキの性能が不良な自転車で行進する行為。



⑬ 酒酔い運転

【法第65条第1項違反】

酒に酔った状態で自転車を運転する行為。



⑭ 安全運転義務違反

【法第70条違反】

ハンドルやブレーキ等を確実に操作せず、また他人に危害を及ぼすような速度や方法で運転する行為。
※携帯電話を使いながら通行して、事故を起こした場合にも適用されることがあります。



自転車に乗られるときは、交通ルールを守り安全に楽しく乗りましょう。

- この度は〈Air bike〉をお求めいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用の前に、安全に関するご注意をよくお読みの上、正しくお使いください。

本製品は組み立てが必要です。

組み立てが完了し、自転車のご乗車前には必ず説明書の記載事項をご確認いただきまして、自転車の点検・調整を行なった上でご乗車ください。

ご使用の前に

- 未組み立てや未調整の自転車には乗らないでください。
- ブレーキやハンドル・サドル・車輪の固定、タイヤの空気圧などの乗車前点検は必ず行ってください。
- 各部品が正常に取り付けられていることをご確認ください(「各部の名称」8ページ参照)。
- 改造しないでください。
- 安全に長くお乗りいただくためにも、定期的に弊社または自転車の整備士、それと同様の技術を有する者による点検を受けてください。
- 購入後2ヶ月以内は、ネジや各取り付け部品のなじみなどの影響でゆりみが生じやすくなっています。ネジ等にゆりみがないか確認してください。ゆりみがある場合は、増し締めを行ってください。
- 初期の点検・確認をせずに乗車した場合の故障は有償修理となります。
- 水圧のかかる洗車や雨天での使用、雨つゆや直射日光のあたるような場所での保管は、錆や故障の原因となる場合がありますので、十分ご注意ください。
- 不安定な場所に自転車を保管しないでください。
- タイヤの空気入れは英式バルブです。ホームセンター・自転車販売店でお求めいただけます。
- 飲酒時やかぜ薬を服用したとき、体調の悪いときは乗らないでください。
- ハンドルに手荷物やペットのリードをつないでの使用はやめてください。
- 滑りやすい靴やかかとの高い靴、サンダル等を履いて乗らないでください。
ペダルから足がずれやすくなり、大変危険です。
- 二人乗りは、しないでください。また、ハブステップを取り付けしないでください。二人乗りで使われた場合は、保証の対象外となりますのでご注意ください。
- かさをさして乗ったり、片手運転や手放し運転はしないでください。
- かさやステッキなどの棒状のものをぶら下げたり、差し込んだりしないでください。
- 下り坂やめれた路面等は大変危険です。スピードを出しすぎないでください。
- スピードを出しすぎて急ハンドルをきることはおやめください。
- 自動車の横を走行するときは、必ず安全を確認してください。
- 凹凸の激しいところでは乗らないでください。
- 巻き込まれやすい服装(裾の長い服や生地薄い服、マフラー等)では乗らないでください。
- 乱暴(アクロバットの)な運転はしないでください。
- 視界の悪いときや夜間は、無灯火で乗らないでください。
- 自転車の走行以外の目的では使用しないでください。
- 交換部品は必ず純正部品を使ってください。
異常がある場合はご使用をとりやめ、すぐに販売店へご相談ください。
- 自転車防犯登録は、自転車に問題がないことを確認した後に行ってください。万一、防犯登録後に初期不良が発見された場合は、自転車返送前にお客様側に防犯登録の解除をお願いする場合がございます。
- 自転車の梱包材(外箱等)は、自転車の初期不良がないことを十分に確認した上で処分ください。
初期不良対応期間は商品到着から8日以内です。梱包材を処分された後、弊社に自転車を返送することになった場合初期不良対応期間であっても自転車の梱包費用(500円～1,000円)をご負担いただくこととなります。※自転車の梱包材は安心修理サービスご利用の際にもお使いいただけますので、可能な限り保管をお勧めいたします。

■前輪ロックに注意してください。

前輪ロックとは、走行中に前輪の回転が急に停止してしまう状態を指します。衝突と同程度の衝撃があり、前のめりに転倒するなど非常に危険です。前輪がロックされる原因には下記のものがあります。

- ハンドルにぶら下げたバッグ等が前輪や前輪と車体との間に挟まったとき。
→ハンドルにバッグ等をぶら下げないでください。
- 細いひも状のもの等が前輪の間に挟まったとき。
→ペットのリードなどが巻き込まれて事故を起こす原因となることもあります。
ハンドルには細いひも状のものをつけたりしないでください。
- スピードを出していて、前ブレーキのみをかけたとき。
→ブレーキをかける際には、必ず両ブレーキをかけてください。
また、スピードの出しすぎには十分注意をしてください。
- スポーク切れやその他の原因によって、リムが横揺れしてタイヤと車体が接触したとき。
→定期的に点検を行ってください。
- フロントフォークが曲がっていたり、ロックがゆるんでいたたりして、ブレーキゴムがタイヤと接触したとき。
→定期的に点検を行ってください。
- 前輪のロックがゆるんで車輪が傾いたことにより、タイヤと車体が接触したとき。
→定期的に点検を行ってください。
- 外部から異物が車輪の間にいったとき。

■交通ルールを守りましょう。

〈道路を走るときに必要なルールです。まず、これだけは覚えておきましょう。〉

- 見通しの悪い交差点や、狭い道から広い道に出るときは、一時停止して左右の安全を確認してください。
- 子供の飛び出しに注意（公園や学校のあるところでは、子供の飛び出しに十分注意してください。）
- 視界の悪いとき（必ず前照灯をつけてください。また、前照灯は早めにつけてください。）
- 停止するとき（右腕を斜め下に出して停止してください。）
- 左折するとき（右腕のひじを直角にあげ、速度を落として曲がってください。）
- 交差点では左に曲がる車に注意
（左に曲がる車のすぐ横は、巻き込まれるおそれがありますので十分注意してください。）
- 車道の左側を必ず一列で走行してください。
- 信号機のない交差点で右折するとき
（右腕を水平にし手のひらを下にして、向こう側まで進んでから右折してください。）
- 歩道を通行できるところでは（歩行者優先で、車道寄りを徐行してください。）
- 車のすぐ横を走るとき
（急にドアが開いたり、車の陰から人が出てくることがありますので十分注意してください。）
- 車のすぐ後ろを走るとき
（前方が見えにくかったり、車が急に止まったり、曲がったりすることがありますので十分注意してください。
安全な距離を保ってください。）
- 踏切では（一時停止して左右の安全を確認してください。）

■道路標識を守りましょう。



一時停止



自転車
通行止め



通行止め



横断歩道



自転車及び
歩行者専用



自転車専用



自転車
横断帯



自転車横断帯
（路面表示）

禁 止 事 項

※4ページの「ご使用の前に」に記載されている注意事項と併せてご確認ください。
(重複している項目もございます。)

- カーブではスピードを出さないでください。曲がり切れずに転倒する等の事故を起こす可能性があります。十分に速度を落としてからカーブに入ってください。
- 無灯火で乗らないでください。
- 走行中にブレーキワイヤを引っ張ったり、折り曲げたりしないでください。事故の原因となります。
- カーブでは曲がる側のペダルを下にしたまま走行しないでください。
ペダルが地面と接触して、転倒や事故の原因となります。
- 滑りやすい場所や状況では使用しないでください。雪道や凍結した道、鉄板やマンホールの上など、滑りやすい場所では一旦自転車を下りて、押して通るか避けて通るなどご注意ください。
- 視界の悪い状況では、乗らないでください。非常に危険です。
- 滑りやすい靴やかかとの高い靴、サンダル、下駄等を履いて乗らないでください。
ペダルから足がずれやすくなり、大変危険です。
- ご乗車時にはギヤやチェーンなどに巻き込まれやすいような服装（裾の長い服や生地が薄い服、マフラー等）は避けてください。
- 片側のみのブレーキ操作はおやめください。走行バランスを崩すことがあり、大変危険です。
- 急ブレーキをかけないでください。
タイヤがロックされたり、スリップして転倒事故の原因となります。
- 凹凸のある道、段差の激しい道は走らないでください。バランスを崩すこともあり大変危険です。
階段や軌道敷内の走行もおやめください。
- 二人乗りやアクロバットのな使用はおやめください。二人乗りは法令により禁止されています。
- 後輪にハブステップをつけての二人乗りはおやめください。
保証の適用外にもなりますので、十分ご注意ください。
- 自転車を改造しないでください。改造した自転車は保証適用外になります。
- 濡れた道や下り坂では、スピードを出さないでください。
適切なスピード（徐行）と余裕のあるブレーキ操作を心掛けてください。
- 荷物を手やハンドルにかけての乗車はしないでください。また、かさやステッキや釣竿など、長尺物を自転車に挟み込んだり下げたりはしないでください。バランスを崩したり、回転部分にはさまったりして車輪をロックさせることになるなど、大変危険です。
- 踏み台に使用する等、本来の使用目的（走行）以外での使用はおやめください。
転倒や怪我の原因となります。
- 山岳・河川等で使用しないでください。ハンドルやフレーム、自転車の重要部分に重大なダメージを与えたり、破損の原因となります。これらの場所や類似する場所での走行もおやめください。
- 葉やアルコール等を摂取した状態で乗らないでください。
また、体調の悪いとき（体力の低下や疲労時）の乗車もお控えください。
- 自転車に異常があるときは使用しないでください。
車体や部品の破損原因となったり、転倒や事故など深刻な事態を引き起こします。
- ブレーキパッド、ブレーキシュー、リムに注油はしないでください。
ブレーキが正常に作動せず、大変危険です。
- 二台以上で走行するときは、横にならなでの走行はおやめください。
- イヤフォン、ヘッドフォンを使用している走行はおやめください。
- スマートフォンを操作しながらの走行はおやめください。

自転車に異常を感じたら、ただちに使用を中止し、点検・整備を行ってください。
修理が必要な場合は、お早めに販売店にご相談ください。

お手入れと保管について

- 走行後は乾いた布やブラシで、泥や土・埃などを落としてください。
- 雨に濡れたときは、乾いた布でよく拭いたあと、ブレーキレバー可動部、チェーン、ギヤに注油してください。
- メッキ部分は乾いた布で良く拭いたあとに、錆止め油もしくは機械油を染み込ませた布で拭いてください。最後に表面に余分な油が残らないよう、再度乾いた布で仕上げ拭きしてください。
- 塗装面は良く汚れを落としたあとに乾いた布で拭き、自転車用ワックス等を使用して塗装を保護してください。なお、塗装面にはシンナーなど有機溶剤を使わないでください。
- 高温や多湿の場所には、保管しないでください。錆や部品変形の原因になります。
- 雨の当たる場所では、カバーをかぶせるなど雨が当たらないように保管してください。
- 直射日光の当たる場所に放置しないでください。塗装面やタイヤを含む樹脂部品の劣化を早めます。
- サドルやブレーキレバー、グリップには注油しないでください。操作の際、滑ることがあり、大変危険です。
- タイヤには油をつけないでください。劣化やスリップの原因となり、大変危険です。
- リムやブレーキシューなどの制動面には注油しないでください。
正常に作動しなくなり、大変危険です。

消耗品と修理について

- タイヤ、ブレーキワイヤ、ブレーキシュー等は消耗品です。お求めの際には、販売店までお問い合わせください。価格および納期をご案内させていただきます。
※消耗品と修理：タイヤ・チューブ等は、同規格の市販品を使用可能です。
- お取替えの目安
 - ブレーキワイヤ：ブレーキワイヤに錆が見られたり、ほつれがある場合。
あるいは、1年以上使用している場合。
 - タイヤ：タイヤの接地面の溝が一部でもなくなった時、あるいはキズや亀裂、シワが現れた時。
 - ブレーキシュー：制動面の溝が残り1mm以下になった時。
- お求めの自転車は5年間の安心修理サービスが付いております。
詳細は18ページのご案内をご確認ください。

ご購入後のサポートはこちらへ

教えて santasan

検 索

<http://help.santasan.net/>
TEL:050-2018-2475 FAX:072-672-7674
〈電話10:15~15:00〉



こちらからメール
作成できます

■主な各部の名称

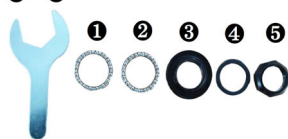
組み立て動画はこちら



■同梱品一覧

- ◎本体一式 ◎サドル×1
- ◎ペダル×1セット
- ◎布製前カゴ (直径23×深さ28cm)
- ◎ワイヤロック錠 ◎取扱説明書
- ◎前照灯 (単4電池×3別売)
- ◎販売証明書 ◎送付カード
- ◎簡易工具
- (プラスドライバー・スパナ2本)
- ◎前フォーク固定部品

①～⑤



■車体の固定／折りたたみ方

※悪い例：
レバーの軸がフレームに
引っ掛かっている状態



①指やブレーキ配線を挟まないように注意しながら、車体を開き接続部を合わせます。
最後まで合わない時はレバーの軸がフレームに引っ掛かっている状態で、少し上に持ち上げてください。



②固定レバーを回し、右側のスリットにしっかりとめこみます。



③固定レバーを下に倒し、フレームが固定されたことを確認します。

■〈前輪付き〉フロントフォークの取り付け



①タイヤが付いているフロントフォークにベアリング部品①をはめます。

③小さな丸が連なっている側を上にする。



②ヘッドフレームの上側にベアリング部品②をはめます。

③小さな丸が連なっている側を下にする。



③泥除けの向きを確認して、ヘッドフレームの下からフロントフォークを差し込みます。先端のネジ部分が出るまで隙間なく差し込んでください。



④ドーナツ状のリング部品③をネジ溝にしっかりと締めます。



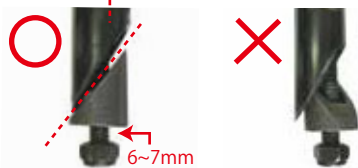
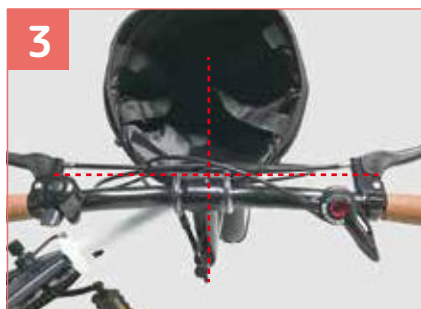
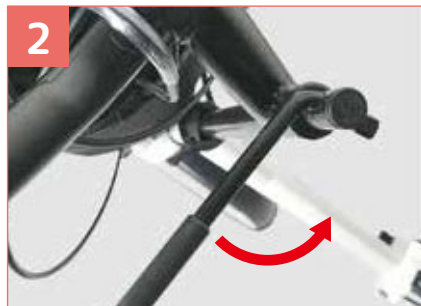
⑤部品④ロックワッシャの凸部は矢印指した溝に入れます。



⑥六角形のナット部品⑤を32mmスパナでしっかりと固定します。

ここが緩んでいるとハンドルのぐらつきの原因となる為、しっかりと固定してください。

■ハンドルの取り付け／調整



※ハンドルポストの先端は、斜めの切り口の向きを揃えて差し込みます。

①ブレーキワイヤーがねじれていないかを確認し、ハンドルポストを差し込みます。

※縦線の安全限界標識が見えない範囲でご調整してください。

②高さが決まりましたら、ハンドル中央部のレバーを回して仮止めします。

③ハンドルが前輪に対して直角になるように調整し、しっかりと締めてください。

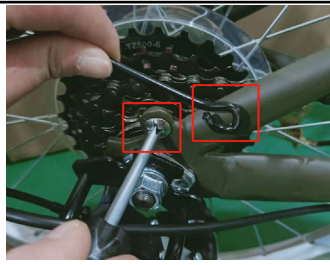
※最後にハンドルグリップを握って体重をかけ、動かないことを確認してください。

■後輪泥除け取り付け

箱開封する際、後輪泥除けステーは固定していない状態で取付が必要です。予めご了承くださいませ。前後車輪軸両端にはハブキャップを取り付けてください。



結束バンドを切ってください。



プラスドライバーでまずネジを外して、泥除け両側ステーを車体側穴に合わせて、またネジをしっかりと固定してください。

■ペダルの取り付け

ペダルには左右区別する為、LとRシールを貼り付けてあります。



Ⓕ 左用 Ⓖ 右用

ペダルには左右の区別があります。ペダルを取り付ける際には、まずペダルの左右を確認してください。

右足側→Ⓖマーク 左足側→Ⓕマーク

取り付ける際は、下記の説明を確認しながら正確に取り付けてください。

また、ペダルは車体に向かってまっすぐに取り付けてください。

【左ペダルの取り付け方】



Ⓕ マークのある
ペダル

※左ペダルは、時計と
逆回りに回して取り
付けてください。

【右ペダルの取り付け方】



Ⓖ マークのある
ペダル

※右ペダルは、時計回
りに回して取り付
けてください。

注 意 ペダルが入りにくいときは無理をせずに、再度左右を確認してください。

無理矢理ペダルをねじ込んで装着しますと、大変不安定になるだけではなく、クランクのネジ山が削れてペダルが脱落し、大変危険です。また、クランクの修理も不可能になりますので、十分にご注意ください。※ペダルの取り付け不良による故障は、初期不良期間中（お届け日から8日間）でも有償での修理となります。

■ペダルの畳み方／広げ方



畳むときは、ペダルを車体側にゆっくり押し込みながら下に倒します。



反対に、ペダルを出すときは手前側にゆっくりとカチッとロック音がするまで引き上げてください。

■サドルの取り付け方



本体のシートクランプをゆるめ、サドル穴にサドルポストをまっすぐに差し込みます。

サドルの方向と高さが決まりましたら、シートクランプをしまる方向に回してしっかりと固定してください。

※シートクランプは、最後までしっかりと回してサドルを固定してください。

《取り付けの注意》

●取り付け

ネジは一度に締めず、最初は軽く仮止め程度で締めてください。

各部の調整を行った後、しっかりと締めて緩みがないようにしてください。

❗ 強制【指定範囲内で管理しましょう。】

- 空気が高すぎると、タイヤ・チューブの破裂（バースト）、タイヤ外れの原因になり非常に危険です。また、グリップ性能やブレーキ性能の低下を起こします。
- 空気が低すぎると、タイヤを傷め、パンクしやすくなったり、ハンドリング性能が低下します。
- 悪路や雨天走行時には、空気を10%程下げてください。接地面が増え、駆動力・ブレーキ性能が上がります。
- 体重のある方は空気を上げ、軽量な方は下げ気味に調整してください。
- 空気圧は数日で減少します。この症状はパンクではありません。軽量なチューブほど減少が早いので、3～4日で空気圧調整が必要な場合もあります。

各部の点検について

安全にお使いいただくために、乗車前には下記の点検を行ってください。

点検・調整後には試乗して、調整が正しく適切に行われているかどうか再点検を行ってください。

点検の箇所	点検項目	チェック
フレーム	○変形、破損、ヒビ割れがないか。	
ハンドル	○固定は確実か。ハンドルステムの挿入量は適正か。○ぐらつきや不安定感はないか。○進行方向に対してまっすぐ前に向いているか。	
ブレーキ	○効き具合は適正か。○ブレーキレバーの引き代に余裕はあるか。 ○ワイヤ類に錆やゆるみはないか。○ブレーキシューに磨耗や損傷はないか。 ○リムに沿っているか。○ズレはないか。	
タイヤ ・ ホイール	○磨耗はないか。空気が適正か。○ホイールがしっかりと固定されているか。(ゆるんでいる場合は、再度固定してください) ○接地面(トレッド)の減り具合やキズ、側面(サイド)の劣化等が有る場合は、販売店にご相談ください。○ブレーキシューの位置によっては、タイヤサイドをこすっている場合があります。破裂(バースト)の原因になり危険です。	
リム	○歪みやがたつきはないか。 ○長期間使用していると、側面(リムサイド)がブレーキにより減っている場合があります。突然破損する恐れがありますので、ご注意ください。	
スポーク	○折れや歪みはないか。 ○細いスポークは駆動力・制動力・路面からのショック等、あらゆる力を伝達しています。張り(テンション)、曲がり等をチェックしましょう。 車輪に振れが出た場合の多くは、スポークが原因です。販売店での調整を受けてください。	
空気バルブ	○ゆるみや損傷がないか。	
ペダル	○がたつき、ゆるみはないか。	
クランク	○軸の回転は正常か。変形、がたつきはないか。	
チェーン	○ゆるみ、錆、油さけはないか。	
リフレクター (フロント・リア)	○汚れや損傷はないか。○取付け角度は適正か。 (反射面の向きは進行方向垂直に対して上下左右5度未満が適正です。)	
ベル	○正しく音が鳴るか。 (モデルによってはベルが標準装着されていないものがあります。それらの場合は、適切なベルをご用意いただき、必ず装着してから走行してください。)	
サドル	しっかりと固定されているか。不安定感やがたつきはないか。	

※各部に緩みやがたつき、異音がなければ付属品の取り付けへ (P15へ)

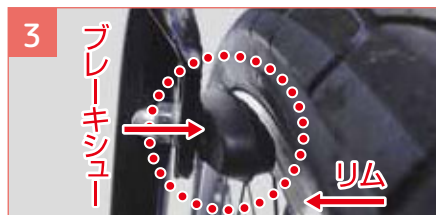
■前ブレーキの調整 (タイヤが擦れる、レバーを握っても緩いなどの場合のみ)



①左右のブレーキを握りブレーキシューとリムの隙間をブレーキワイヤを引き調整します。



②ブレーキの位置が決まりましたら、ネジを締めてブレーキワイヤを固定してください。



③左右のブレーキシューとリムの隙間は、約1mm程度あるのが理想的な状態です。



④ブレーキレバーを何度か握る／開くを繰り返してワイヤの引っ張り具合を確認してください。



⑤ブレーキシューの位置が左右でズれているときは、フロントフォークとブレーキの間にあるネジを回して微調整してください。



⑥左右のブレーキシューとリムの隙間を微調整するときは、ブレーキワイヤの根元にあるネジを回して微調整してください。

※乗る前に必ずブレーキが効いているか、ブレーキレバーをにぎって確認してください。

■後ブレーキの調整 (タイヤが擦れる、レバーを握っても緩いなどの場合のみ)



①左ブレーキレバーを3回ほど強く握ってワイヤーの初期伸ばしをします。



②ブレーキが緩いときは、ロックナットを手前に後輪の回転が重いときはロックナットを奥に回します。

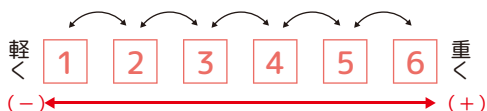
※ワイヤー固定ナットを緩めるとワイヤーの張りが大きく変わるので注意してください。

■シフト変速機の使い方 〈シフト変速機は、(-) / (+) の6段階の変速が可能です。〉



変速機は、坂道や風向きなどの走行条件の変化に応じてギヤを変え、ペダリングの速さ、踏力を一定にして疲れを少なくする装置です。

上り坂などは、レバーを矢印の方向に押しすごとに1段ずつ軽くなります。
平坦な道ではレバーを矢印の方向に引くごとに1段ずつ重くなります。

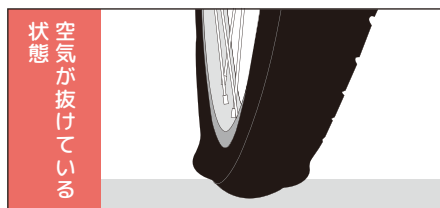
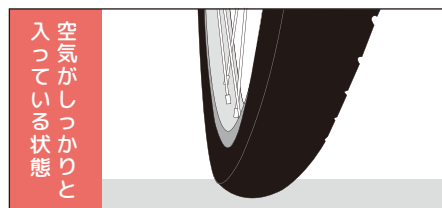


注意：ペダルを止めたままやギヤクランクを逆回転させた状態で、シフトを変えると変速機やチェーンを痛め、故障の原因になります。

※変速がうまく変わらない、チェーンが落ちやすい等の不具合がある場合は、お近くの自転車店様で検査・調整（有料）を依頼してください。

タイヤの空気圧について

タイヤの空気圧が減った状態で走行するとタイヤに負担がかかり、タイヤの消耗やチューブの劣化が早くなります。自転車に乗る前に、こまめに空気圧の確認をしていただき、減っているのであれば空気ポンプ（英式チューブバルブ）で空気をお入れください。（タイヤの消耗を軽減することができます。）



タイヤは地面に接する唯一の場所です。駆動力はもちろんブレーキ時の制動力を伝える重要な部分です。自転車のタイヤの空気圧は四輪車に比べて非常に高圧で、常に適正値が必要です。で、自転車専用の空気圧計（エアゲージ）付きポンプで管理してください。

適正空気圧はタイヤによって異なりますが、タイヤ側面に最低値（Min）～最高値（Max）、もしくは最高値のみが表記してあります。体重や路面状況によって範囲内で調整してください。簡単なチェック方法は両手の親指で力いっぱい押して、ようやく少し凹むくらいを目安としてください。

ご注意：海外輸送中コンテナ内高温によりタイヤがパンクしないように、出荷する際、タイヤに空気を半分しか入れません。お手元に届いた時点で空気が抜いてしまう恐れがあります。これは初期不良でなく、予めご了承くださいませ。

■ 付属ライト／取り付け方



■ ライト用土台



■ ライト用土台の取り付け

1



①土台をハンドルに合わせ、ベルト穴で締め付けを調整します。

2



②ベルトを差し込み固定します。
出っ張りがサドル側です。

3



③土台が固定できましたら、ライト本体の底面を合わせてカチッと鳴るまでスライドさせて取り付けます。

4



④ライト本体上部のスイッチを押すと点滅・点灯・OFFが切り替えできます。

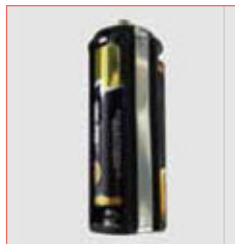
■ 電池の入れ替え



ライトの先端を回して外してください。

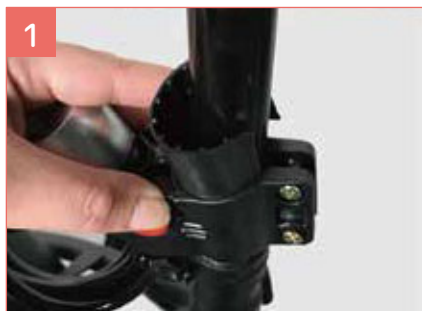


ライトの電池蓋を開けた状態



単4電池×3を＋－を間違えないように入れてください。

■ 付属ワイヤー鍵／取り付け・外し方



① サドル下のシートポストに固定用ゴムとワイヤー鍵の台座を合わせます。



② 固定位置が決まりましたら、プラスドライバーを使って台座を固定します。



ワイヤー錠を使用するときは、赤いボタンを押しながら上にスライドして外してください。鍵のみが分離できます。

元に戻す際は、台座の溝に合わせて上から下にスライドして固定します。



■ 付属布前カゴ／取り付け・外し方



① 2本のフックをハンドル中央にかけます。



② 側面の面ファスナーをハンドル軸に巻いて固定してください。

※ カゴの底がタイヤと接触していないことを確認してください。

商品がお手元に届きましたら

まずは商品の状態を確認してください。お届けには万全を期しておりますが、商品の不具合や欠損がないか、必ずご確認ください。

(お客様のご都合により、開封が遅れた商品へのご対応は致しませぬますので、予めご了承ください。)

初期不良について

初期不良のご申請期間は、商品到着日より8日間とさせていただきます。商品到着後、何か不具合等がございましたら、まずは販売店までご連絡ください。修理もしくは交換という対応をさせていただきます。ご返送方法や詳細につきましては、販売店までお問い合わせください。

保証の適用除外

- 保証期間が経過している場合。
- 使用者の不注意、使用方法に起因する不具合や消耗品である場合。
- 改造された場合。
- 衝突／転倒／道路の段差への乗り上げ、または溝等に落ちて生じたもの。
- 法令の違反行為(最大積載量オーバー、二人乗り等)によって生じたもの。
※後輪にハブステップをつけての二人乗りによって生じた故障は保証適用外です。
- 保守／点検の不備または間違いによって生じたもの。
- 酷使または一般に自転車が行き止まない場所での走行により生じたもの。
(道のない山岳ツーリング、道のない土手の傾斜面等)
- 地震、落雷、火災、水害、公害、その他人災、天災、地変によって生じたもの。
- 手入れ不十分、保管場所の不備及び時間の経過により生じた塗装面、メッキ面、その他これに類する部分の不具合、若しくはプラスチック部品等の自然退色、部品の通常の磨耗または疲労と認めたもの。
(タイヤ、チューブ、ブレーキ用ゴム等のゴム類)
- くぎ、ピン、ガラス、切削くず、鋭利な石ころ等で生じるパンク。
- 一般に機能上の影響のない感覚的症狀。(音、振動等)
- 再販でご購入された場合や、その他販売店の判断に基づき有料と認められる場合。

「自転車防犯登録」について

ご購入後の盗難に関する責任は弊社では一切負いかねますので、防犯登録はお客様の責任において行ってください。自転車防犯登録は都道府県毎に管理されております。お近くの自転車防犯登録所(自転車販売店、ホームセンター等の自転車を販売している所)において、自転車本体、身分証明書・弊社の納品書をお持ちいただき、自転車防犯登録を行ってください。(販売証明書が必要な場合はお気軽にご連絡ください。)

※必ず商品の検品をしてから防犯登録を行ってください。万が一防犯登録後に不良などにより返品される場合は、返品前に防犯登録の解除をお願いすることになります。

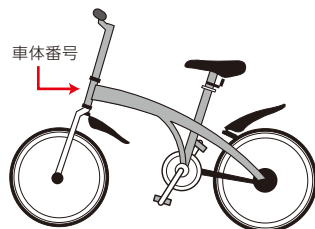
※料金は各地域によって異なりますが、500円～1,000円程度が一般的です。

※車体に刻印されている車体番号は控えを取り大切に保管してください。

※車体番号は各自転車固有のもので、紛失されても、弊社ではお調べすることができません。

※車体番号が読み取りづらい場合は、型(20インチ 折りたたみ自転車等)として登録を行うことが可能です。

※当店でも防犯登録は、可能ですのでお気軽にお問い合わせください。



お求めいただきました自転車には、5年間の安心修理サービスが付いております。

当店だけの購入特典！ 5年間安心修理サービス

点検メンテナンス、故障メンテナンス(自損を含む)を承ります。

安心の特別価格でご修理いたします！

修理費2,000円～最大8,000円+往復送料

◎最大の修理料金が設定されているので、安心して修理にお出しください。お見積り後の修理も可能です。※消耗品は別途料金となります。消耗品に関しては7ページをご確認ください。

- ・修理の自転車を弊社指定場所へお送りいただきます。
- ・弊社へお送りいただく送料及び弊社よりご返却の際の送料は、お客様のご負担となります。
- ・お送りいただく際の商品の梱包は、お客様の梱包材による梱包となります。

※商品をお届けした際の外箱は保管していただきますと、安心修理サービスご利用の際にもお使いいただけ便利です。(下記をご参照ください。)

●安心修理サービスの流れ

- (1) まずは、お客様からメールでご連絡ください。その際、お手元に自転車ご購入時の購入店舗名と、お客様のお名前(フルネーム)をご用意いただくと対応がスムーズになります。
- (2) 症状をお聞かせください。受付番号と返送方法をご案内いたします。
- (3) 案内に沿って、自転車をご返送ください。専門スタッフが自転車を確認させていただいた後、修理内容とお見積りをご案内いたします。
- (4) お見積りにご了承をいただいた後、修理させていただきます。
※受付時に症状と使用期間から概算見積りのご案内も可能です。
その際に見積りにご了承いただけました場合は、「事前ご了承済み」としてすぐに修理に取り掛からせていただくことができ、より早く自転車をお手元にご返却できます。
(事前の見積り金額と実際の見積り金額が異なった場合は、担当から改めてご連絡させていただきます。)
- (5) 修理・点検・整備完了後、自転車をお手元にご返却いたします。
※修理費に関しましては、発送前のお支払いもしくは自転車到着時のお支払い(代金引換)でお願いしております。

※故障箇所によっては特殊な部品の手配が必要となるため、修理に1ヶ月以上かかる場合もございます。

※修理と併せて点検も行わせていただきます。消耗品等に関しましては、お取り換えをご案内させていただくこともございます。(消耗品は修理費と別に有償となります。)

※安心修理サービスご利用でのメンテナンスや組み立てサービスも承っております。お気軽にお尋ねください。

※弊社からのご購入ではなく、正規販売店よりお求めのお客様の修理に関しましては、保証書(説明書19ページ)を弊社にご提示いただき、弊社での修理も承っておりますが、まずはお求めの正規販売店へお尋ねください。

※消耗品に関しまして(7ページ参照)は、別途販売させていただいております。部品をお求めいただく際、受付番号とお名前(フルネーム)をお聞かせいただくと対応がスムーズになります。

お届け時の外箱(段ボール箱)に関しまして

- お届けの際に、商品が入っていた外箱(段ボール箱)は、万が一初期不良が発生した場合、返品に使用していただく箱となります。お届けから8日間の申請期間中は、必ず保管していただきますようお願いいたします。
- 外箱なしでご返送いただきました場合、修理完了後(もしくは交換の際)弊社で外箱の用意もしくは梱包をして、返却をいたします。その場合は、梱包代(500～1,000円)をご負担いただきますので、ご理解とご了承をお願い申し上げます。

Santasan 自転車5年間安心修理サービス保証書

商品名：bicycle-mss2008

有効保証期間：ご購入より5年間

お客様 〇
ご住所

お名前

お電話

様

ご購入日： 年 月 日

正規販売店

※正規販売店とは **Santasan**（日本タイガー電器株式会社）と正式な契約をしている販売店のことです。

印

※保証をご希望される場合、**Santasan**（メーカー）にて直接ご購入いただいたお客様は、本保証書と自転車購入の際の納品書で対応が可能です。**Santasan**（メーカー）以外の正規販売店でご購入いただいたお客様は、正規販売店欄に必ず店印が必要になります。尚、正規販売店の店印がない場合や正規販売店以外でご購入いただいたお客様は保証対象外となります。この保証書と納品書は、大切に保管してください。

この保証書は、本書の示した期間、条件のもとにおいて修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明な点がございましたら販売店までご連絡ください。

商 品 仕 様

品番／型番	bicycle-mss2008		
サイズ	[本体](H)950x(W)580x(L)1400mm [折り畳み](H)650x(W)320x(L)780mm		
サドルの高さ	710～880mm	お届け時外箱サイズ	(H)510x(W)320x(L)760mm
フレーム素材	スチール	耐 荷 重	75kg
重 量	約15kg	原 産 国	Designed in Japan Made in China
タイヤ・チューブ仕様	HE規格 20 *1.75 英式バルブ	スタンド仕様	片側スタンド
ブレーキ仕様	前輪：キャリパーブレーキ 後輪：ドラムブレーキ	変 速	シマノ製外装6段
セット内容	・本体一式×1 ・取扱説明書（保証書付き）×1 ・プラスドライバー×1 ・万能スパナ×1 ・32mmスパナ×1 ・前後ハブキャップ×4 ・サドル×1 ・ペダル×2 ・ヘッドパーツ ・布前カゴ×1 ・ライト×1 ・ワイヤーキー×1 ※お届け後、お客様にて部品取り付けが必要となります。 ※付属していない工具は、お手元でご用意ください。		
そ の 他	・ご使用の際には、付属の取扱説明書を必ずお読みください。		

Air bike®